

SHIMIZU BANK

しみずミニレポート 2010.3



contents

頭取メッセージ	2
業績ハイライト	4
FOR YOU	7
TOP Interview	
富士紙管株式会社	8
株式会社オリエンタルフーズ	10
身近なライフプランのアドバイザー	12
誰でもわかるマネー講座	14
技の人 ～株式会社小出製作所	16
Short Trip in SHIZUOKA ～静岡市葵区	18
趣味人クラブ ～Velo Club Allez	24
清水銀行 TOPICS	25
雅の逸品	28

清水銀行の概要 (平成22年3月31日現在)

- 創立/昭和3年7月1日
- 本店所在地/静岡県静岡市清水区富士見町2番1号
- 総資産/1兆3,457億円
- 預金残高/1兆2,555億円
- 貸出金残高/9,663億円
- 資本金/86億7,050万円
- 店舗数/本支店・出張所81店舗 (静岡県内78店舗、静岡県外3店舗)
- 従業員数/978名
- 連結自己資本比率/11.22% (国内基準)
- 単体自己資本比率/10.88% (国内基準)
- 格付/A (日本格付研究所 長期優先債務)

※本資料に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



久能山東照宮

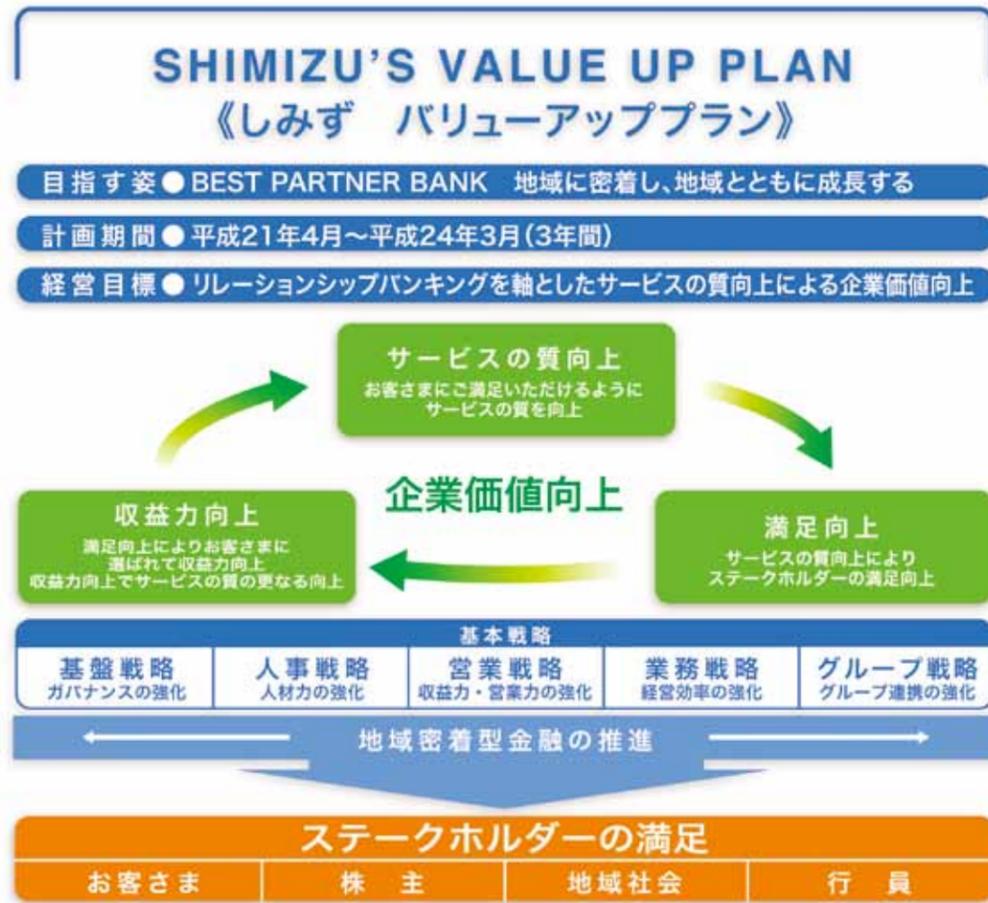
晩年を駿府城で過ごした徳川家康。元和2年(1616)に死去した後、遺命によってこの久能山に葬られた。久能山には家康の統治以前に建てられた久能城があったが、これを廃止し、わずか1年7ヶ月の短期間に現在の建物を造営したといわれる。奉られている祭神はもちろん東照宮大権現(徳川家康)。驚くのは相殿には豊臣秀吉、織田信長も奉られていることだ。日光よりもこじんまりとしてはいるが静かで清しい雰囲気は、久能山という孤立した山の頂に守られているからだろうか。

神廟、社殿、神庫、神楽殿、鼓楼などの建造物は重要文化財に、久能山全域も国より史蹟としての指定を受けている。

2006年には50年に一度の漆の塗り替えが完了し、緑のまぶしい季節には社殿の朱も冴え冴えとして見事な美しさを醸し出している。



第23次中期経営計画



仕事をする上での基準は 地域やお客さまにとって プラスになるかどうか

**地域とともに
お客さまとともに**

私が仕事をする上での基準は地域やお客さまにとってプラスになるかどうかです。

当行は創立以来、静岡県を主要な営業基盤として、地域に密着し、地域とともに成長するリレーションシップバンキングを目指しております。リレーションを通じてお客さまを良く知って、お客さまのニーズを探り、適切な金融仲介機能を発揮することで地域経済活性化に向けて取り組んでおり、その結果として当行の企業価値が向上するものと考えております。

今後も経営理念の下、地域金融機関として地域経済活性化へ



清水銀行 頭取
山田 訓史
Yamada Noriji

の貢献を第一義とし、皆さまのお役に立つ取組みを推進してまいります。

リレーションを深めるための営業体制

当行には様々なお客さまがお見えになります。事業に関するアドバイス希望される経営者の方、住宅購入のためにローンを希望される方、資産運用を希望される方、皆さまそれぞれニーズは異なります。

当行ではそのようなお客さまのご要望に対してご満足いただける高度な金融サービスのご提供を実現するために、行員の業務・役割を明確化して、事業・ローン・資産運用について専門スタッフ(スペシャリスト)を

配置しております。

事業に関しては「渉外担当」、ローンに関しては「ローンセンター担当」、資産運用に関しては「MA(マネーアドバイザー)担当」がお客さまのニーズ・課題等を十分理解し、その内容に応じた情報提供や専門的なアドバイス等を行います。

研修体制を充実するなか、行員にはお客さまのご要望に全力でお応えすることを通じて成長してほしいと考えております。

第23次中期経営計画

私は「不変」と「変革」という表現をよくします。地域金融機関として地域に密着して地域発展に貢献する役割は将来的にも変わりませんが、日々の環境変化

本誌発刊にあたって

本誌は皆さまに清水銀行をより一層身近な存在として感じていただけるように従来のディスクロージャー資料の内容を拡充させ、リニューアルいたしました。

また、当行の取組みや決算の概要だけでなく、静岡県の地域・企業の情報掲載しております。ここ静岡の地に根を張る清水銀行について一層ご理解いただければ幸いに存じます。

当行は引き続き地域活性化に取り組んでまいります。なにとぞ、倍旧のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



本店ビル

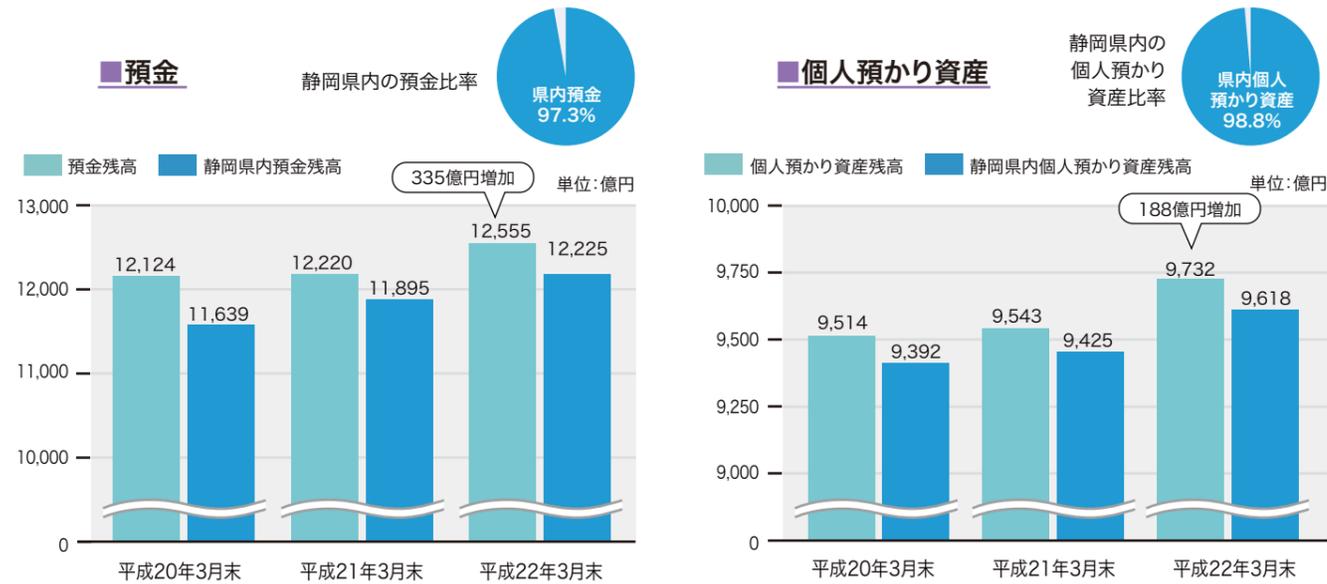


天神本部

●預金の状況

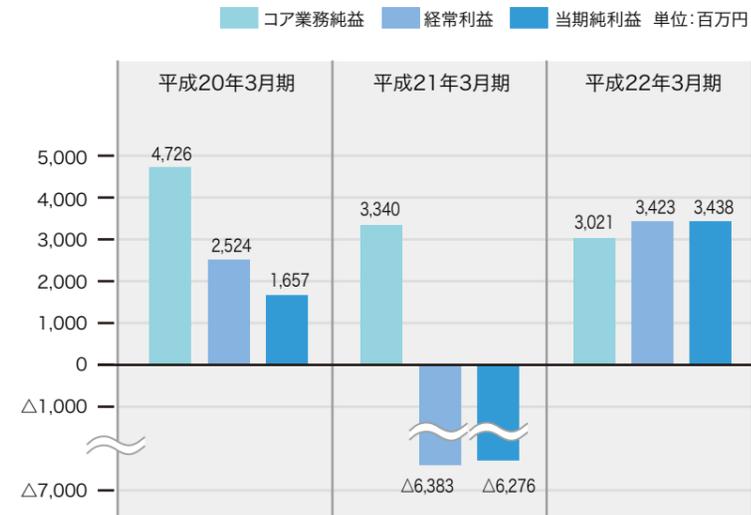
預金残高は、地域に密着した営業基盤の拡充に努めた結果、前期末比335億円増加し、1兆2,555億円となりました。そのうちの97.3%にあたる1兆2,225億円が静岡県内のお客さまからお預けいただいている預金です。また、個人預かり資産は個人年金保険等を中心に順調に増加しています。

預金等について



●損益の状況

経常収益は、金利低下により資金運用収益が減少したことから、前期比21億18百万円減少の244億23百万円となりました。利益面では、21年3月期決算において株式等関連損失を一掃したことで株式等関係損益が大幅に改善したこと、信用コストが減少したことから、経常利益は34億23百万円、当期純利益は34億38百万円となりました。



●コア業務純益

預金や融資などの銀行の基本的な業務であげた利益から一般貸倒引当金と国債等債券損益の影響を除いたもので「本業での基本的な利益」を示します。

●経常利益

コア業務純益に、株式・債券の売却損益・償却や貸倒引当金等不良債権処理に要した費用などを加減した後の利益です。

●当期純利益

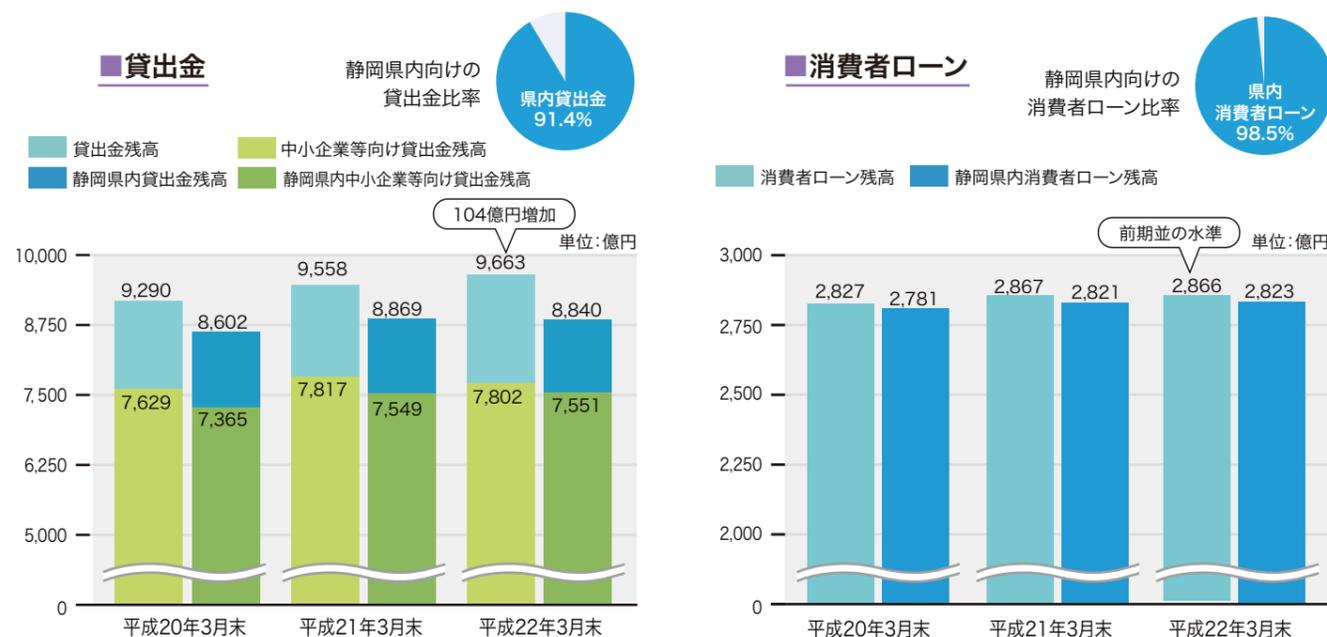
当期中に得た純利益で、経常利益に土地などの売却損益などを加減し、法人税や事業税を差し引いた正味の利益を示します。

●貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの資金需要に積極的にお応えしました結果、前期末比104億円増加し、9,663億円となりました。そのうちの91.4%にあたる8,840億円が静岡県内のお客さま向けの貸出金です。

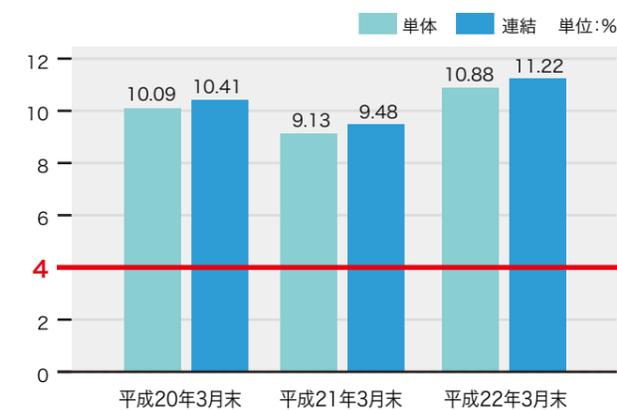
(注) 中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等であります。

貸出金について



●自己資本比率 (国内基準)

自己資本比率は、11.22%(連結)、10.88%(単体)と、国内基準で維持することが求められている4%を大きく上回っています。

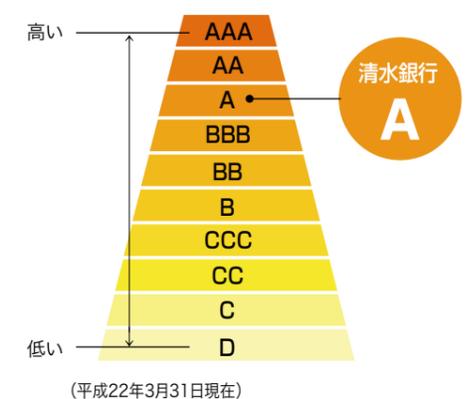


●自己資本比率

銀行の健全性をはかる指標の一つです。貸出金などのリスク資産に対する自己資本の割合で、当行をはじめ国内のみに支店がある金融機関には国内基準が適用され、4%以上を維持することが求められています。

●格付

当行は長期優先債務について、日本格付研究所よりランク上位にあたる『A』を取得しております。

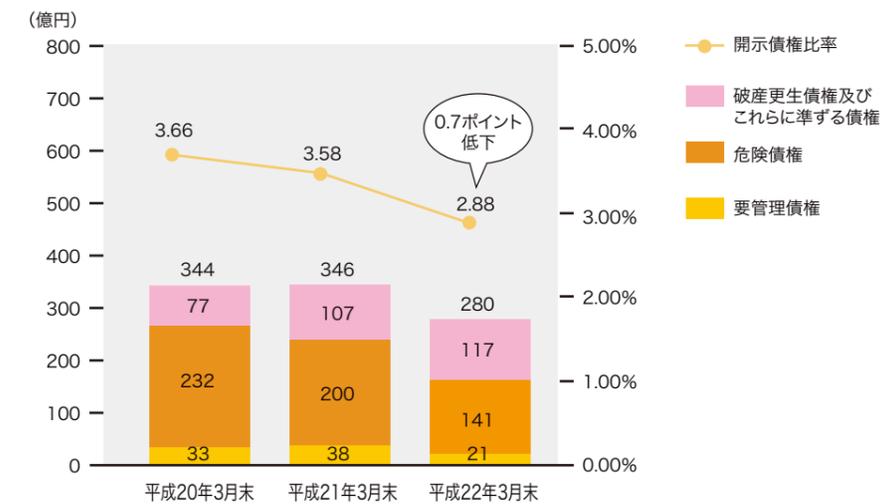


●格付

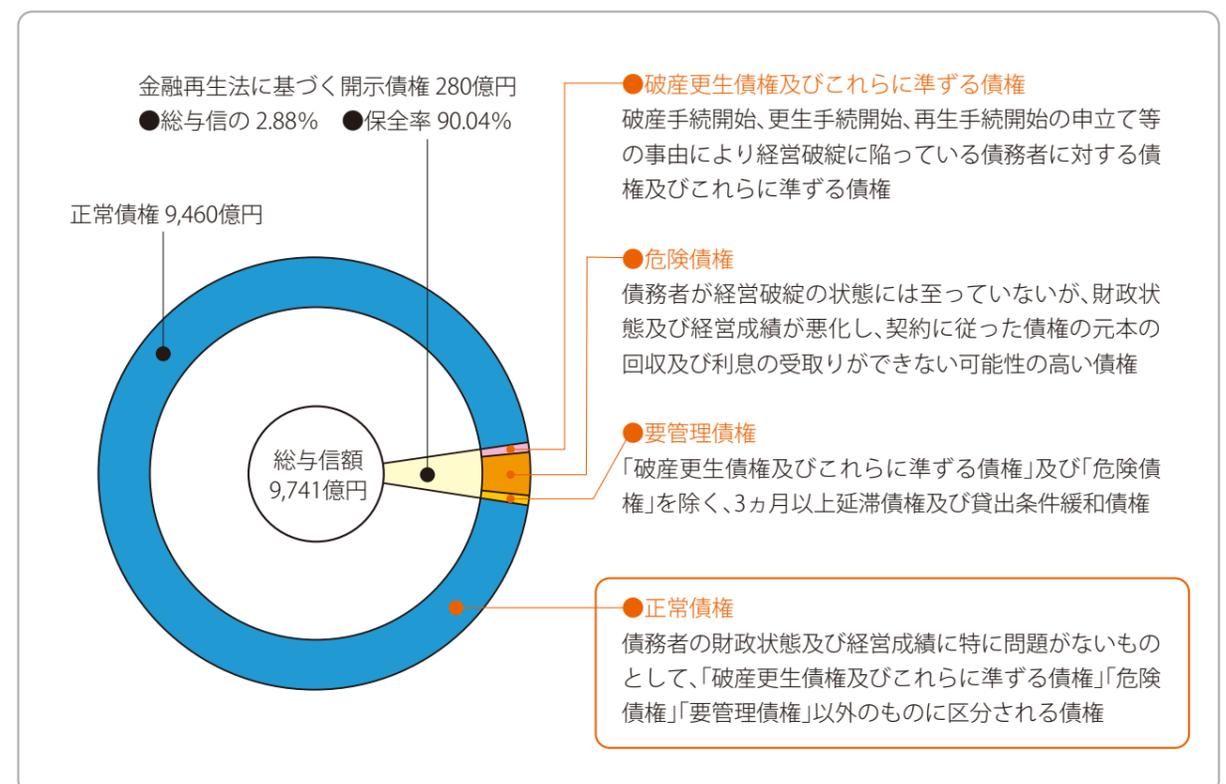
対象となる債務について、約定どおりに元本と利息が支払われる確実性の程度を公正な第三者である格付機関が評価を行い、簡単な記号で表したものです。

●金融再生法に基づく開示債権の状況

当行は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(金融再生法)に基づき資産の査定を行うとともに、適正な引当金を計上し資産の健全化を図っています。開示債権は前期末比66億円減少の280億円であり、総与信に占める割合は前期末比0.7ポイント低下の2.88%となりました。なお、これらの債権は、担保や貸倒引当金などにより90.04%が保全されています。



金融再生法に基づく開示債権



FOR YOU

masahiro万年筆製作所製「15mm赤マールエポナイトインク止め式大型ペン先」9万円。
他に、ペン先や軸の太さによって3種類、4万5000円から。

「オールハンドメイドで作るからには、大量生産の市販品に勝ればこそだ。」



masahiro万年筆製作所
静岡市駿河区大谷769-3
TEL 054-283-7511
FAX 054-298-7473
http://www.masahiro.gr.jp/

手に感じるのはひんやり優しい重み。試し書きをしてみると、紙の上をすべるような書き味に驚く。文字を書くという、ただそれだけのことが、これほど心地よいのかと思わせてくれる。

内野成広さんが総エポナイト製の万年筆を作り始めたのは、15年ほど前。10代の頃にハンドメイドの万年筆を知り、自分もいつか納得できるものを作りたいと思いついた。ペン先は許諾を得た上で「パイロット」のものを使い、それ以外の胴や内側の構造、キャップ、ペン芯、クリップに至るまで、すべて手業による加工にこだわる。

「求めるのは「究極の書き味」。日々を共にしたい万年筆」

masahiro万年筆製作所
内野成広さん

ものでなくてはならない」との信念が、内野さんにはある。そんな内野さんが理想とするのは、見た目の美しさ、持ちやすさはもちろんのこと、「文字を書いているうちに、その万年筆の存在すら忘れるほどの書き味」。

なめらかで軽やか、持つ手に一切の負担をかけずサラリと走る。あとに残るのは、書き手の思いと、インクからにじむ味わい深い筆跡。何げない日常を書き留めるときや、大切な書類に一筆書き添えるときに、長く付き合いたい一本だ。

新連携で実現した エコス・コア（低発塵紙管）

紙管一筋のプライド

「紙管」といわれてもピンとこない方はトイレレットペーパーや食品用ラップの巻芯を思い出してもらうといい。「紙管」というのは、文字どおり紙でできた管（筒）のこと。その用途は紙やフィルムを巻くだけではない。最近では建築用の資材や贈答用の容器などとしても使われ、目立たないけれど実は、紙管は私たちの生活に深く関わっている。

1957年創業の富士紙管株式会社は、紙管製造という専門分野に特化し成長を続けている企業だ。全国に同業種の企業が130社ほどあるが、そのシェアは大手5社の次にランクされる。同社の取り扱い製品や強みについて、齋藤規夫代表取締役社長はこう説明する。

「製紙用の、紙を巻き取る芯棒の製造がスタートで、いまでは情報記録紙や音響機器用フィルム、各種テープ用などに進出し

ています。規格品だけでも200〜300種類、製品にしたら何千種類とあります。創業以来半世紀以上、一貫して紙管メーカーとして歩んでおり、その製造に関するノウハウの蓄積が当社の大きな強みといえるでしょう」

同じような機能を持つ管には樹脂や金属製の製品もある。こうした管に比べ紙管は軽くて加工しやすくコストパフォーマンスに優れている。もうひとつ、その原料は100%古紙であり、紙管は古紙↓製品↓古紙とエンドレスのリサイクル製品。環境問題が叫ばれている昨今において、同社は絵に描いたようなエコロジカルな企業なのだ。

強みの融合「エコス・コア（低発塵紙管）」誕生

同社は、昨年7月に「新連携」という経済産業省・中小企業庁の補助事業の認定を受けた。「新連携（正式名称：異分野連



携新事業分野開拓」とは、事業分野の異なる複数の企業が有機的に連携し、お互いのノウハウを組み合わせて新たな事業を開拓すること。この新連携の認定を受けたのが、同社がコア企業となつて開発した製品「エコス・コア（低発塵紙管）」だ。そのいきさつについて齋藤社長はこう話す。

「従来の紙管は、価格や軽量な点で優位なのですが、強度の面や、切断面から粉塵が出るなど、樹脂や金属製に劣っている面もあるのです。そこで紙原料メーカーと接着剤メーカーと連携して、先の課題を克服した「エコス・コア（低発塵紙管）」を開発したわけです。この案件を清水

富士紙管株式会社

代表取締役社長

齋藤 規夫 氏



銀行の担当者に相談したところ、新連携を受けるようにアドバイスがあり、金融支援とともにターゲットとする市場調査や、さまざまな支援をしてもらいました」

その新しく開発した製品は、天然素材のセルロースを原料としてつくられる特殊な紙を酢酸ビニル系エマルション（接着剤）で接着し、スパイラル（螺旋）状に巻き重ねた紙管である。この新製品は、ファイバー状の繊維質が柔軟性を持ち、強度も格段に上がった。断面の粉塵も格段に押さえることができたという。結果として樹脂管なみの性能を持つていると胸を張る。さらに原料はパルプ100%の天然繊維であり、やがて自然分解し土に戻るエコ製品だ。

「樹脂なみの強度を持ったことで、工業用アルミシートやフィルムなどの巻芯としてのニーズが見込まれます。もうひとつは、切断面の粉塵が抑えられたことで、クリーンルームで用いられる食品、医薬品、電子分野に使われるフィルムの巻芯の市場ニーズが期待できます」（齋藤社長）

新開発したものは製品化し、販路を開拓しなくてはならない。同社は新連携の認定後、低発塵紙管を2009年の中小企業

総合展に出展。50数十社の中から7社に与えられる「ベストプレーゼンテーション賞」に輝いた。中小企業基盤整備機構から販路の紹介があるなど、課題である販路開拓についても好感触を得た。「今後は、この製品の売り込みに力を注いでいきたい」と齋藤社長は意気込む。

清水銀行への期待

清水銀行（富士支店）にとっても、新連携プロジェクトに参画したのは初めてのことだ。「新連携を提案させていただいた以上、何とか成功させたいと、マーケティング調査などは専門分野ですが、開発に関する技術的なことに関してデータを探したりするのが大変でした」（担当者のお話）と振り返る。齋藤社長は「このプロジェクトを通して、ただ貸す借りという関係以上のリレーションシップを得られることができました。今後、もう一歩リレーションシップを大事にしてくれる銀行であることを期待します」

徹底した生食の品質管理技術を強みに、新たな事業を拓く

あらゆるニーズに応える加工技術

自らを「マグロのような男」と豪放に笑うのは宮本昌宣代表取締役社長だ。マグロは、ときには時速100kmくらいの猛スピードで泳ぎ、止まることはない。前進あるのみの魚である。

株式会社オリエンタルフーズの前身である東洋フードが冷凍マグロの加工業として創業したのは1977年。世界で一番マグロを食べる日本人のニーズに合わせるようにさまざまな加工技術を研究・開発し、業績は右肩上がりに成長してきた。現社長が就任した2003年当時に比べ、その売り上げ高は3倍以上だ。2004年には、最新の設備を備えた本社工場を清水区宮加三に設立・移転した。



株式会社オリエンタルフーズ
〒424-0911
静岡市清水区宮加三 340-1
TEL 054-337-1662
FAX 054-337-1663
http://www.orientalfoods.jp

工などがありますが、ネギトロをつくる特殊加工もやっています。また業界では珍しいのですが、大きな魚も小さな魚も、トロや赤身など多様な部位、量産品も個別の小さなロットにも、あらゆるニーズに応えられる体制が当社の大きな強みのひとつといえます」

品質管理への自信

食のグローバル化が進めば進むほど、食卓の安心・安全に対する関心が高まっている。オリエンタルフーズの品質・衛生管理は徹底している。最新の設備は、原材料が入荷した瞬間から加工・出荷まで、外気に触れることのないクリーンな状態を保つように設計されているという。

2005年には加工ラインのすべての工程でリスクを予測し、監視や記録、改善を行う管理手法であるHACCPを導入。さらに2008年には食品



安全の国際的マネジメント規格ISO22000認証を取得している。生食を扱う県内の水産加工会社ではISO規格取得は初めてのことで、全国でも数社しかない。品質管理に対するこだわりはオフィスの設計にも表れている。オフィスに入ると目の前にガラス張りの品質管理部門があり、白衣のスタッフが品質チェックをしている。品質管理への自信の表れだ。

「品質管理部門は私の直轄で、実は工場長より品質管理室長のほうが権限が上なんです。製造スタッフと日々ミーティングを重ね、万一、製品に問題があったら、出荷を止める権限を持っています。また品質のチェッ

持つて、新たな挑戦を続けていきます。

清水銀行とのパートナーシップ

スピーディで積極的な事業展開を繰り返しているオリエンタルフーズだが、資金調達もちょっとユニークである。銀行融資では不動産担保などが一般的であるが、清水銀行側のおすすめもあってオリエンタルフーズでは企業の流動資産を担保の主体にしたABL(動産担保融資)で資金調達できた。これは清水銀行としても初めての試みである。

「つまりマグロを担保に資金調達したわけです。むしろ、そのためには在庫や売上げに関するデータをモニタリングしてもらい、信用してもらったということです。事業を拡大していくためには先行投資はどうしても必要で、そういう点で清水銀行は地元密着型で、とてもパートナーシップにあふれていると思います。もちろんこれからも、借りる貸すだけの関係ではなく、われわれ企業と手を携えてお互いに伸びていくような関係でありたいと思います」

株式会社オリエンタルフーズ

代表取締役社長

宮本昌宣氏



新事業への飽くなき挑戦

しかしマグロの消費が世界に広がる一方で、資源問題が取り沙汰され漁業規制の動きも活発だ。こうした時代的背景を受けて、オリエンタルフーズは今、新しい事業に乗り出している。ひとつは台湾産サクラエビの加工・輸入だ。

「サクラエビといえば駿河湾産ですが、値段が高くてなかなかスーパーなどに並びにくい。なるべく安くして質の高いサクラエビを提供できたらと台湾産のサクラエビ加工に踏み切ったわけです。最近、台湾の現地工場が完成しました。この工場の特徴は、サクラエビを一匹一匹凍らせて旨味を閉じ込めるIQFという冷凍方式を採用している点。また本社のスタッフが駐在し、品質管理を行っています。サクラエビだけに止まることなく、今後もグローバルな視点を

身近なライフプランのアドバイザー

マネーアドバイザーやテラーはお客さまの資産運用やライフプランの実現のサポートに取り組んでいます。

みなさまのお近くの清水銀行では、ライフプランや生活スタイルに合わせたさまざまな金融商品のご提案や、資産運用のご相談を承っています。

このコーナーでは、当行の各支店で活躍するマネーアドバイザー(MA)やテラーが、それぞれの仕事内容やお客さまに対する想いをたっぷりと語ります。

ご家族の資産をトータルでサポート！

毎朝マーケット情報のチェックからスタート。それが私の日課です。清水銀行のマネーアドバイザー(MA)として「いつもお客さまから資産の相談を受けても笑顔で応えたい」。そのためには各商品の知識はもちろん、毎日の市場動向調査は欠かせません。



●静岡支店
MA(マネーアドバイザー)担当
小澤 総子

ニーズにあった納得のライフプランを

私は個人のお客さまを中心とする資産運用の担当として、お客さまのライフプラン実現のサポートをさせていただいています。お客さまのご要望は千差万別です。第二の人生をスタートするにあたり「退職金や老後資金はどうしたらいいの」「今後、子供達に資産を残したいんだけど」「そんなご相談もいただきます。そんな時には、預金はもちろん国債や投資信託、保険商品なども説明させていただきます。ご要望を満たし、納得していただ

るプランをお客さまと一緒に作成しています。

「お客さまに信頼していただける知識と品格を持つ」「お客さまのことを理解し、お客さまが喜んでくれ、私自身も納得できるプランを作成する」この2つを常に心掛けています。心を込めてお客さまの対応をすることで、良い関係を長く築くことができると思っています。

ご相談のなかで、資産を蓄えてきた手段やご家族の歴史を伺うこともしばしば。お金に色は無いといいますが、お金の向う側にある価値や込められた想いが見えるように感じる時もあります。人生の先輩であるお客さまからプライベートなお話を伺えること、大切な資産運用についてご相談いただけることは、本当にありがたいことです。

ニーズにあった納得のライフプランを

私がずっと同じお客さまを担当していくことはできませんが、清水銀行のMAが変わらずにお客さまをサポートしていきます。だからこそ季節的な商品提案ではなく、資産をトータル

ニーズにあった納得のライフプランを

現在は資産運用を主に担当していますが、今後は住宅ローンなども含め、ご家族各世代トータルでのライフサポートができるようになりたいですね。そのためには日々勉強です。

仕事以外でも常に好奇心を持ち、自分の幅を広げていきたいと思っています。そして、お客さまが笑顔になる話題をたくさん持った銀行員になりたいです。

いつもお客さま目線で！

「明るく笑顔でお客さまと接する」をモットーに、お客さまに早く名前と顔を覚えて頂けるよう、そして支店の顔を目指して日々窓口業務(テラー)をしています。富士支店に転勤してきて約半年、顔なじみのお客さまが次第に増えていく、そんな毎日がとても楽しいです。今後も「藤牧さんに相談に来たよ」と言っていただけのお客さまを増やしていきたいと思っています。

●富士支店
テラー担当
藤牧 美香



何気ない会話からニーズを見つける

何気なく窓口にご来店いただいたお客さまから、ご家族やご趣味、お仕事などのお話を伺うことがあります。そのお話の中にお客さまのニーズが隠れていることが多々ありますので、お客さまの状況に合わせて様々な商品をご提案させていただきます。場合によってはカウンターから移動し、応接スペースでじっくりご相談をしたり、ご自宅にお邪魔することもあります。

窓口だからこそ

もともと接客が好きでお客さまのお役に立ちたいと選んだ銀行員。今はお客さまと一緒にライフプランを考え、ご要望にあった商品をご提案し、結果としてお客様に喜んで頂いた時は本当にやりがいを感じます。

私が担当するテラーは、毎日多くのお客さまと接します。様々なお客さまと接する機会が多いと同時に、短時間での対応が必要となります。だからこそ、その一瞬を大切にしなければならぬと考え、「笑顔」「お客さまに合わせた対応」を心掛けています。第一印象が何より大切で、それが清水銀行のイメージとなってしまうと、とても過言ではないからです。だからこそ笑顔をやささず、お客さまによっては話すペースや説明方法を変えようといった柔軟な対応も心掛けています。

居心地の良い空間を

夕方、店内ではロビーの片づ

けを行います。お客さまの目線に立つことのできる瞬間です。伝票類を補充することはもちろん、備え付けのペンや朱肉の状態、掲示物やリーフレット類をチェックし、翌日ご来店いただいたお客さまに快適に過ごしていただけるように準備をします。ロビーに立つてお客さまの目線で店内を見渡すことで、その日の自分を振り返ることができますし、一期一会を大切にできるテラーとしてリセットできます。

また、当店ではお客さまの協力もあり、常にお花を飾っています。お花は心和む空間作りには欠かせないエッセンスです。

周囲に気配りできるテラーに

テラー業務でもチームワークは重要です。お客さまをお待たせしないよう迅速にお手続きをしたり、また一方ではじっくりとお話をしたり、そのためには協力が必要です。お客さまだけでなく行員を含めた周囲全体に気配りが出来、周りから信頼されるテラーになりたいです。



では、セカンドライフにおいてどのくらい資金が必要なのでしょう。簡単な算出方法として図1を参考に夫婦2人のケースを見てみましょう。平成19年度の調査ですが、日常生活に必要な資金は、夫婦2人で月額約23万円と言われています。一方、夫が一般的なサラリーマンであった夫婦が受取る年金は平均月額約23.3万円であり、ほぼ同額であることがわかります。セカンドライフを楽しむための資金は日常生活費「プラスα」の部分ですから、いかにセカンドライフを楽しむかは「プラスα」つまり年金に加算する「余裕資金」となるわけです。

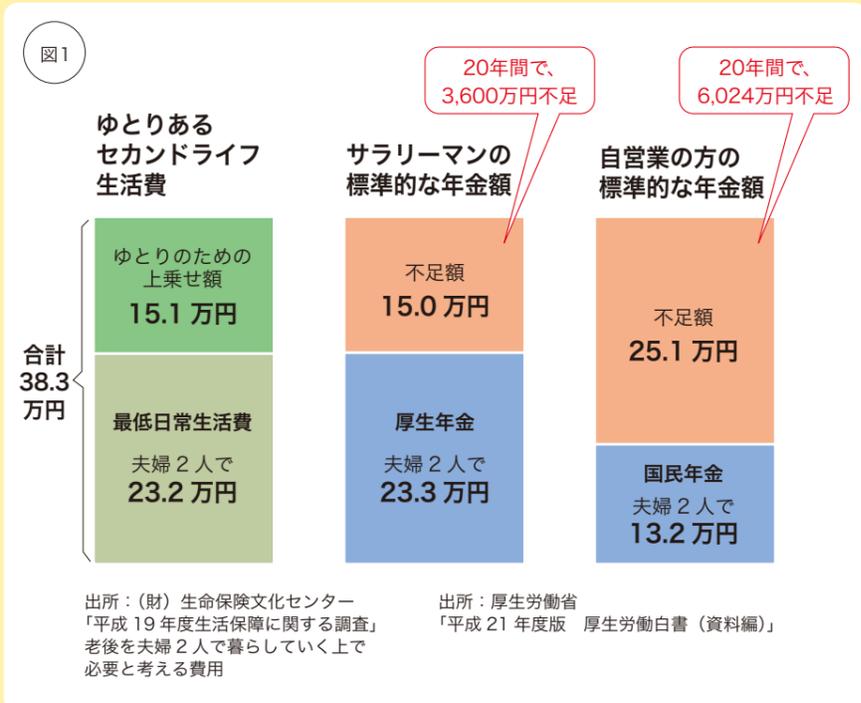
ポイントはゆとり資金

有意義なセカンドライフを送るためには、なんと言っても健康と資産が重要になります。その両方が整ってこそ楽しく過ごすことができるのです。具体的には、先に触れた平均余命のライフプランを考え、自分のやりたいことやスタイルをイメージすることから始まります。

旅行がしたいのか、趣味を楽しみたいのか、その頻度や程度、期間を考えれば「プラスα」にいくら必要なかおおよその金額を算出することができます。ちなみに図1の調査では、ゆとりある生活をするための上乗せ額は「15.1万円」となっています。これは月額平均での算出ですが、参考にさせていただいてはいいでしょうか。

資金計画は早めに相談

これまでの試算は調査に基づいた一般的な金額ですから、ご自分が生活するのに必要な金額、受給できる年金額を当てはめることで、より詳しく計算することができます。家計簿を参考に、楽しいセカンドライフプランを作成してみましょう。



money 誰でもわかる マネー講座

楽しいセカンドライフを過ごすために



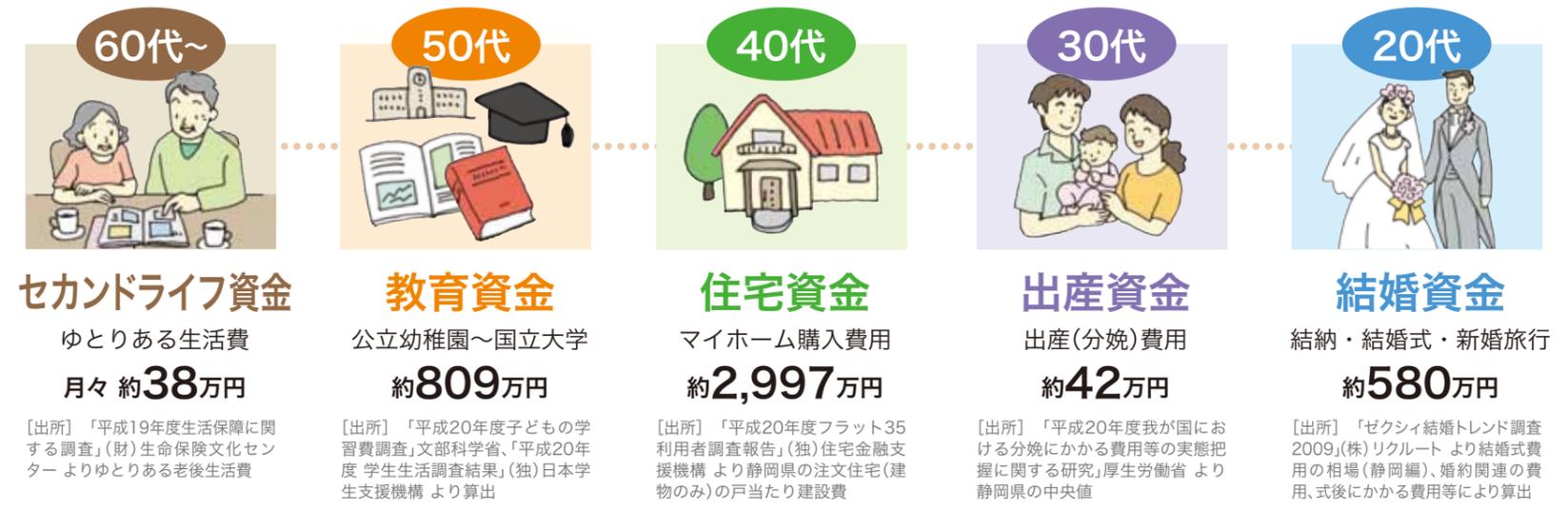
「ハワイやグアムでのんびりもいいし、パリやローマで買い物や芸術鑑賞、短期移住もしてみたい」「ゴルフ三昧の毎日」「自給自足を目指し、畑仕事にチャレンジ！」「趣味ではじめたトランペットをみんなが見ているステージで演奏したい」「スローライフを楽しみたい」セカンドライフへの夢ははてしなく広がるばかりです。

セカンドライフは20年以上

日本は世界一の長寿国であり、その寿命も年々伸びていることを考えれば、セカンドライフを楽しまない手はありません。仮に60歳をセカンドライフのスタートとした場合、男性の平均余命はおおよそ22年、女性の場合はおおよそ28年あります(平成21年7月厚生労働省発表 平成20年簡易生命表より)。現実

ライフイベントとその費用

注)本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、いずれにおいてもその将来を示唆するものではありません。



ITとのタッグで光る現代の“技”

小出製作所

金型

形あるものを作る、そのための型を作る――

一般の人の目に決して触れないのが「金型作り」という仕事だ。小出製作所がエンジン製造に使う金型を作り始めて40余年。その間、時代は急速にIT化が進み、物作りの現場にもその波が押し寄せた。コンピューターによる加工を、「人の感覚」で補う、両方の持ち味をうまく組み合わせた「匠の技」は、縁の下の力持ちとして、現代の物作りを支える。



IT化時代の先取り

自動車や二輪車の心臓部であるエンジン。小出製作所(磐田市)は、そのエンジンやミッションを作るための「金型」を製造する会社だ。

金型作りは注文を受け、商品の機能や大きさに合わせて設計するところから始まる。あるデザインの車を作る場合、エンジンの大きさはどのくらいのものが必要か、どこに強度を持たせるか、それを作るにはどんな機能をどこにどのようにつければいいか、といったメーカーの多岐に渡る要望を受けて、二次元で細かく設計。コンピューター上で3Dに置き換え、製品を作るための型として、立体的にどう削るかの指示を工場へ送る。

「今はコンピューター制御が発達し機械で型を削れるようになりました。精度の点で言えば、手作業とは比べ物にならないくらい、いいものができるようになりました」と技術部部長の武

田賢二さん。この部分は、ほんの30年ほど前までは、木型や紙を使い、職人による手作業で行われていた。小出製作所がITへの切り替えを始めたのは25年ほど前だ。

職人の経験・技術で機械は活きる

しかし、コンピューターの導入は、単なる「人から機械への交替劇」ではなく「人の技術の裏打ちがあつてこそ」と、代表取締役社長の小出悟さんは話す。「コンピューターは精度のいい道具ですが、物作りに対する考え方の基礎や職人の経験を土台に持っていないと、本当にいいものできません」

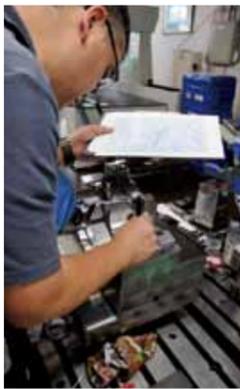
コンピューターに指示を出せば、無人でも機械は削り続ける。しかしそれを動かす人間が、例えば機械に装備する刃物の手入れひとつおろそかにしていれば、その刃物で作られた製品はもはや正確な製品ではない。多



株式会社 小出製作所
静岡県磐田市森本 1045
TEL 0538(37)1147(代)
http://www.koide-net.co.jp



最終的な組み付け作業風景。右写真手前にある大きな鉄の物体が金型で、このくらいのものだと700点ほどの部品を組み付けるといふ。近くに寄ってみると何種類もの管やネジ、なにやら複雑な形の電子回路のようなものなど、おびただしい数の部品が組みつけられている。これをひとつひとつ間違いなく完璧に組み付けていくのは、大変な技術だと実感。



設計の部屋では、設計図を描いて、それをモデリングし、機械の指示データを作るところまで行う。企業秘密がいっぱいの頭脳部屋だ。

技術部部長の武田賢二さん(中)。「10年でやっと一通りの仕事を覚えたという感じでしょね」と笑う。両脇にいる二人は若いけれどもベテランの組みつけ技術者だ。

水で冷却するよう設計すると、いった具合です(武田さん)

やはり最後は「人」

一番最初の設計段階、その間の機械の管理、そして最後にすべての部品を合わせて完成品にする「組み付け・調整」と、要所要所でどうしても人が関わらねばならない。特に、最終チェックの「組み付け・調整」は、工程のすべてを理解した上で、どこにどんな調整が必要かを見極めながら組み合わせる。ねじに狂いはないか、それぞれの部品は寸法

がきちんと合うか、ホースは空気が漏れないか、気の遠くなるような、だが、決して妥協できない作業だ。どれほどIT化が進んでも、それを活かすのは人の感性と経験に他ならない。

「金型は最終商品ではなく、最終商品を作るための道具。品物が、時間内にできるだけたくさん正確に作れる道具であれ。それが、私たちに要求されることです」(小出さん)

精密な物作りのための精密な金型作り。そこにかける思いに、物作りの原点が見えた。



小出製作所
代表取締役社長
小出 悟氏

金型にはプレスやプラスチックなどの種類があり、当社手がけるアルミは全体の約1割。社歴も40年未滿で、業界では決して長い方ではありませんが、IT化が進む中、

これからはコンピューターが人の勤や技術をカバーするだろうという切り替えは早かったと思います。

今、工程の多くがIT化されていますが、人がいないわけではありません。コンピューターを扱うにしても、数字の上での勤やコツが必要です。同じ作業を何度か繰り返すと、機械の動きや製品の状態を予測できる。昔の職人は音や手触りで判断していましたが、今の技術者は、数字を統計的に並べ、平均値を出すことで、適切に処理します。これがIT技術時代の「匠」の技術かもしれません。



ここには、神さまが大勢同居されてるそうですよ。



地元有機野菜やお惣菜の店 リアルフードマーケットあくつ。地元でできるだけ農薬や化学肥料を使わずに育った食材の販売と、それらを使った身体にやさしいお惣菜、お弁当の店。やさしい空気がふんわり漂う。



中町交差点

あくつ

長政祭りで知られる山田長政の碑を発見



レトロでかわいい駿府浪漫バス。



懐かしい風情のおでん屋さん。



少々汗ばむ陽気だけど、天気もまずまずの散歩日和。「さて、記念すべき一歩はどこから行きましょうか」、「じゃあ、この小さな旅の安全祈願も込めて」おせんげんさん「から参りましょうか」

というわけで中町交差点から赤鳥居をくぐり宮ヶ崎通りを静岡浅間神社へと向かう。通称「浅間通り」と呼ばれる門前通りの商店街をぶらぶら歩くうちに、こもりと緑濃い鎮守の森と赤鳥居が見えてくる。「おせんげんさん」と駿河っ子が親しみを込めて呼ぶ浅間神社だ。ただ、この神社の由来は少々ややこしい。

静岡浅間神社は、神部(かんべ)神社と浅間神社、大歳御祖(おとしみおや)神社の3社の総称だ。古い順にいえば、駿河国の祖神を祀った神部神社(約2100年前)、安部の市(古代の市場)の守護神を祀った大歳

静岡浅間神社
〒420-0868 静岡県静岡市葵区宮ヶ崎町102-1
Tel 054-245-1820 www.shizuokasengen.net



Short Trip in SHIZUOKA

ショートトリップ in 静岡

第一回 ◆ 静岡市葵区



説明するまでもないが静岡県の政治・行政の中心といえば静岡市葵区追手町界隈。歴史をさかのぼれば江戸三百年の礎を築いた徳川家康ゆかりの駿府城下である。駿府城址を中心に呉服町、伝馬町、紺屋町、鷹匠といった、いかにも城下町らしい町名が続く。やはり、この城下町から歩くのが筋というものだろう。

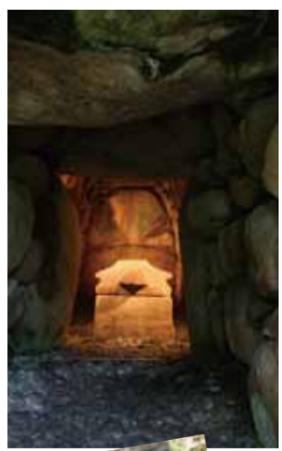




臨濟寺では、講師を招いてのZenカルチャーという知的な講座も開催している。



臨濟寺



1300年前の石棺に眠る人が誰なのか、よく分かっていないという。

静かな静かな、しずか時間が流れます。



丸山町

麻機街道



「どこかで見たような感じ、日光東照宮に似てませんか?」「そうですね。徳川3代将軍家光が、尊敬していた家康を偲んで日光東照宮を造営し、この神社も大造営し

御祖神社(約1700年前)、そして1100年前に富士山信仰のシンボルであるコノハナサクヤヒメを祀る浅間神社が鎮座したそうである。ほかに少彦名(すくなひこな)、玉鉾(たまぼこ)神社などが鎮座。「すごいなあ、こんなに神サマがいっぱいだとご利益もたくさんあるでしょうね」と、ちょっとだけお賽銭をふんばつて二拝二拍手一拜。それから玉砂利を踏みながらじつくりと社殿散策。



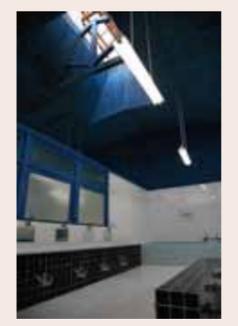
天神湯

長谷通り

COFFEE CHERRY



取材中のにわか雨。風呂上りのご近所さんたちが、「降ってきちゃったつけね〜」と口々に。聞けば20年以上通う人ばかり。



歴史といえば、静岡県を代表する名門、静岡高校(旧静岡中学校)もこの通り沿いだ。長谷通りで、まず目に飛び込んできたのが天神湯。そのレトロな佇まいにつられ暖簾をくぐってみた。番台の主は一見無愛想な感じだったが、訳を話すと実に親切に応じてくれた。聞けば大正9年創業の老舗。ひとつ風呂浴びにきたご近所らしいオバサンやオジサンも気さくに話しかけてくれ、歴史のある下町風情が心地いい。天神湯からほんの少し歩いたところに、今度は黄色地に「COFFEE CHERRY」のハデな看板。店内を覗くと何種類ものコーヒーの生豆がずらり。その奥では店主が焙煎の最中で、いい香りが漂ってくる。

たのですから。『養生訓』で知られる貝原益軒は『吾妻路之記』で「神社の美麗なること、日光を第一とし、浅間を第二とす」と書いている。社殿の造営には諏訪をはじめ全国の匠が集まった。そのままだ駿府に定住した職人もいて、やがて木工や漆器、家具、模型といった静岡特産工業へとつながったのだという。「へーっ、静岡の匠の原点がここにあったとは」静岡浅間神社の背後にある鎮守の森は賤機山だ。「しずはたやま」と読む。実は明治維新後の廃藩置県のととき県名の由来になったのがこの山。「賤ヶ丘」から「静岡」になったそう。境内から通称「百段」をフリーいながら登っていくと気持ちのいいハイキングコースになっており、ときおり木立の間

から静岡市街が一望できる。賤機山の南の端には6世紀後半に築かれたとみられる古墳がある。石室の前には鉄格子があつて「何だか残念」と話していたらパツとライトがついて石室が浮かび上がった。「わーっ、ずいぶん粋な演出」と大はしゃぎ。浅間神社の楼門をくぐり麻機街道に出る。西に賤機山を見ながら北上すると大岩町。住宅街にまつずぐのびる道の先に臨濟寺の大きなお堂が見えてくる。この名刹は、いまから470年ほど前に太原雪斎が京都の妙心寺から大休和尚を招いて開山した禅寺。今川氏の菩提寺であり、家康(竹千代)が今川氏の人質だった時代、この寺で雪斎に学んだと伝えられる。僧堂は雲水たちの「専門道場」となっており、特別拝観以外は非公開。いかにも厳

格な禅寺らしい。再び麻機街道を浅間神社へと引き返し、神社の正面からまっすぐのびる長谷通りへと入った。この通りがかつての門前通り、表参道だ。どことなく懐かしい佇まい。通り沿いには駿河国分寺や若宮八幡宮、熊野神社といった歴史のある神社仏閣がある。

イベントカレンダー

- 7月 16日(金) ● 巴川灯ろうまつり
24日(土) ● 第57回安倍川花火大会
28日(水) ● 日本平まつり 大花火大会
30日(金)~8月1日(日) ● 第63回清水みなと祭り
- 8月 13日(金)~15日(日) ● 第48回静岡夏まつり夜店市
- 9月 18日(土)、19日(日) ● 第8回静岡おだっくい祭り
- 10月 30日(土)~31日(日) ● 第22回静岡みこし祭り
- 11月 4日(木)~7日(日) ● 大道芸ワールドカップin静岡2010
14日(日) ● 第27回井川もみじマラソン大会
- 12月 18日(土)、19日(日) ● ホビーのまち静岡 クリスマスフェスタ2010



しろつめ草を摘む高校生やら、ベンチで語らう恋人やら。緑が美しい静岡が誇る市民の公園。



COFFEE CHERRY

長谷通り



直火焙煎で注文に応じて少量ずつ豆を煎るから、いつでもできたて。新鮮な熱々の豆同様、店主のココロも熱い店なのである。



大野カメラのオーナーは「写真を楽しむ持ち」を大事にしている大野夫妻。数軒離れたギャラリーとここでも、写真展や企画展を開催中。のぞいてみる価値あり。



大やきいも

増井茂商店



静岡の街中育ちならご存知の大やきいも。夏場はやきいもはお休みて、かき氷が登場。それでも食べたい芋好きは、年中やっている絶品大学芋をいただくべし。

店先から、人情と旨いものの匂いがする町です。



豆の量り売りって、どうしても買いたくなる。枧にたっぷりすくって数百円。小さな幸せだ。

13年前に、この通りに店を開いたという店主は飾りっ気のない人物で「200gからの小口対応で、注文を聞いてから焙煎します。それがウチのウリです。かき氷、ハイ」

長谷通りには、地元っ子以外にも名前の知られた「大やきいも」がある。店名の由来ともなった大釜で焼くやきいもが有名。「子どもの頃、イモばかり食べていたんでちよつと苦手」といって、焼き上がった紅あずまを何年かぶりに頬張ってみたら、これが美味しい。ホクホクとして旨みがぎゅつと詰まっている感

じだ。ついつい揚げたての大学いもまで手を伸ばしてしまつた。

若い店主に、創業年を聞くと「僕で4代目。創業は100年くらいだと思つたのですが、よく分かりません」。老舗となると、よく長々とウンチクを聞かされたりするのだが、それがいい。ただ淡々とサツマイモを焼いてきたという感じで、好感が持てる。店のオバちゃんたちの笑顔も、この店の味なのかもしれない。

「大やきいも」の近所にある乾物屋「増井茂商店」は、小豆などをいまでも枧の量り売りをしていて、団塊世代らしいカッコイイ店主が「もうこういふ枧は売ってないだよねえ」。年季の入った枧は、この門前町の歴史そのものかも知れないと思つた。

長谷通りから住宅街を抜けて北街道へ出て、「駿府町あおい通り」を散策。老舗の菓子店や三味線・琴店、古書店といった店が通りの古さを滲ませている。その通り沿いの「大野カメラ」を覗いてみた。デジタル時代で写真館も厳しいなか、若い店主は「写真も撮りっぱなしじゃなくプリントして楽しめるようにしたい」と、デジタル時代に写真の楽しみ方を広めているそう。古い町並みにも新しい風が吹いている。

さて、駿府城址の外堀をぐるぐる回る格好で散歩したが、終点は駿府城址。いうまでもなく、徳川家康が2代目の秀忠に將軍職を譲って隠居し、その波乱の人生を閉じた城である。お堀を渡り復元された東御門を入ると広大な公園になっていて、サラリーマンや子ども連れのお母さんや学校帰りの生徒が散歩していた。このゼイタクな空間を持つ地元っ子は幸せだ。



今年4月にオープンした葵タワーは静岡市の新名所。JR静岡駅の北口にそびえる地上25階のビルには、オフィスや書店、飲食店などのほか、静岡市美術館も入居している。



カフェバー&スイーツ sousou

静岡のハラダ製茶が経営する若い女性をターゲットにした新感覚のカフェバー&スイーツ sousouでは、お茶を使ったドリンクとスイーツがいただける。正統派の煎茶からモダンな和スイーツまで、緑茶の魅力が再発見できる。



戸田書店

静岡市にこれまでなかった品揃え。蔵書60万冊以上「本がないとはいわせない!」戸田書店静岡本店のリニューアルオープン。特に2階の専門書系フロアでは、じっくりたっぷり、充実のアカデミックな世界が堪能できる。



NPO静岡県作業所連合会が運営するみんなのお店「わ」。県内の作業所製品を共同販売している。美味しいものやちょっとした贈り物にできそうな小物が充実。



地域に密着し、地域とともに成長する

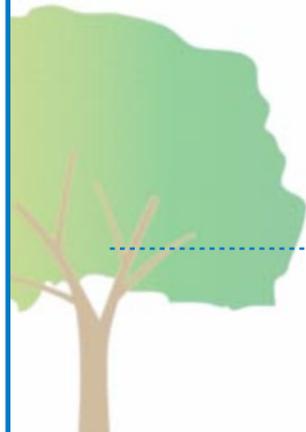
清水銀行 TOPICS

(平成21年4月～平成22年6月)



私たち清水銀行は「地域に密着し、地域とともに成長する」ため、清水エスパルスのオフィシャルクラブスポンサーをはじめ、静岡県立美術館などで開催される展示会への特別協賛、清水区の名勝「三保松原」への植林活動、各地区の地域行事への参加など様々な活動に取り組んでまいりました。これは当行が地域とともに歩んできた証でもあります。

これからも清水銀行は地域に密着した活動を継続してまいります。



富士まつり

集めました。

平成21年4月11日～5月11日まで静岡県立美術館で開催された「よみがえる黄金文明展」ブルガリアに眠る古代トラキアの秘宝」に特別協賛いたしました。ブルガリア国立博物館群の秘宝約170点が一挙に公開され、大変な人気を集めました。

■平成21年4月
よみがえる
黄金文明展へ
特別協賛



港かっぱれ 総おどり

平成21年8月1日、62回を迎えた清水みなと祭り「港かっぱれ総おどり」が当行本店前で行われ、多くの行員が参加しました。

■8月
清水みなと祭り
に参加



■10月
静岡県立大学で
特別講義を開講

平成17年より静岡県立大学経営情報学部で講義を行っております。静岡県を営業基盤とする地域金融機関として、学生の金融・経済に関する実践的な知識の習得を目的とした講座を提供しました。



趣味人クラブ

Vol.1



スピードにこだわる社会人バイクチーム

Velo Club Allez (ベロクラブ アレ)



Velo Club Allez

メンバーは現在32名ですが、随時募集中。女性や若手大歓迎。毎月第2日曜朝のタイムトライアルに参加できることが条件です。

●問い合わせ allez_shimizu@yahoo.co.jp

2008年に結成した自転車クラブチームVelo Club Allez。メンバーの平均年齢は40代で、会社員や自営業、医師などさまざまなジャンルで活躍する社会人が中心です。代表の川島広己さんは「もともと日本平に走りにかけていた人たちが顔を合わせるうちに親しくなり、自転車の大会などにチームで出る体制を作りたいね」とクラブを結成することになりました」と話してくれました。

主な活動は、月1回第2日曜に行われるタイムトライアル。早朝6時半に集合して、日本平の清水日本平運動公園前から頂上まで、30秒毎に出発してタイムを記録します。清水側から日本平頂上に登る旧道は、かなりハードな上り坂。みなさん必死の面持ちで、荒い息を吐きながら登っていきます。メンバーの中でも自転車歴の長い井柳さんは「自転車は相当ストイックなスポーツですが、そこが一番の魅力だと思えますね」といいます。もちろんストイックなばかりではなく、オフの日は自転車で走った後に飲み会をすることもあるそうです。朝日の日本平を走り抜ける緑のユニフォームも鮮やかに、走った後のみなさんにとっても爽やかな笑顔です。





■ 12月
三保松原に植林

平成20年、80周年記念事業の一環として、松くい虫被害により松林が減少している三保松原に行員及びその家族による植林を行いました。地元金融機関として、地域名勝である「三保松原」の景観維持や松林再生活動に少しでも役立つ



ちたいこの思いから生れた企画です。記念事業としてだけでなく今後についても同様の取り組みを継続し、地域社会に貢献していきたいと考えており、平成21年12月5日、平成21年度入行者、平成22年度内定者による植林を行いました。「地域に密着し、地域とともに成長する」という想いを学ぶ場となりました。

■ 平成22年1月
清水銀行杯
フレンドリーシティ
清水少年少女
サッカー大会

第42回清水銀行杯フレンドリーシティ清水少年少女サッカー大会が平成22年1月9日～11月24日まで、当行協賛により開催されました。本大会は清水地区が目指している「日本一のサッカーフレンドリーシティ」づくりの大きなイベントの一つとして毎年1月に開催されており、幼児



から中学生までが学年別、男女別に分かれて参加しています。チームにとって今年度の総決算になる大会であり、今年度は207チーム2,608名が参加し熱戦を繰り広げました。



■ 4月
ホームページ
全面リニューアル

平成22年4月1日、ホームページを全面リニューアルしました。お客さまのニーズにお応えするため掲載内容を充実し、「見やすさ・使いやすさ・わかりやすさ」を追求しました。新しくなったホームページを、ぜひご覧ください！



■ 5月
三島支店・東部ローンセンター
新築移転オープン

平成22年5月24日、JR三島駅南口そば(西方面約200m)に三島支店が新築移転オープンしました。「お客さまの利便性向上」をコンセプトに、落ち着いた雰囲気の中で相談いただくためのコンサルティングルームを5部屋ご用意しました。また、平日の来店が難しいお客さまのために、併設する



東部ローンセンターでは土日祝日営業を開始しました。全自動貸金庫についても休日稼働を行いお客さまのニーズに最大限応えてまいります。また、環境配慮型店舗として、LED照明や風力・太陽光発電用のプロペラ・パネルの設置なども積極的に進めています。

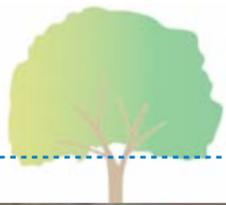
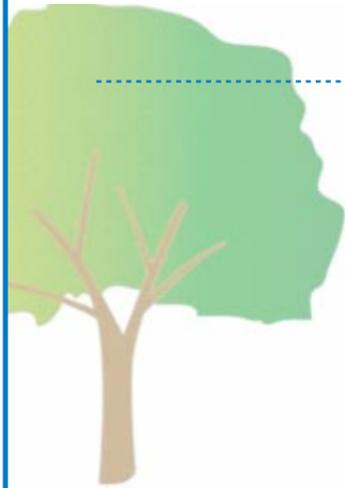
■ 3月
エスパルス
スポンサーマッチデー
「清水銀行デー」

平成21年6月20日、平成21年12月5日に続き、本年度3回目の清水エスパルスホームゲーム「清水銀行デー」が平成22年3月13日アウトソーシングスタジアム日本平にて開催されました。オフィシャルクラブスポンサーとして「清水エスパルス」応援定期預金の発売、試合運営を行うホームゲームボランティア「パルちゃんクラブ」への参加等を通じて地域のお客さまとともに地元Jリーグチームである清水エスパルスを応援してまいります。



■ 6月
しずおか
未来の森サポーター
金融機関協定第一号

平成22年6月16日、静岡県が企業の森づくり活動を支援する「しずおか未来の森サポーター制度」に基づき静岡県・静岡市と金融機関としては初の森づくり協定を締結しました。対象地域は三保松原とし、松林の保全や景観維持のために、植樹や下草刈、周辺清掃などの活動を展開します。





雅の逸品



黒く輝く、一口大の「口福」。 清水屋「黒大奴」

漆塗りを思わせる、つやのある黒が印象的な和菓子「黒大奴」。見た目のインパクトはもとより、一口で食べられる小ぶりのサイズと、なめらかなこしあんの上品な甘さが、茶席などで喜ばれ、県内外に根強いファンを持つ。
黒大奴が生まれたのは100年ほど前。「粹でアイデアマンだった」清水屋の代表取締役・清水克俊氏の祖父が創作した。最高級の黒あんを昆布入りの羊羹で包んであり、それによって独特の光沢が生まれる。この発想のもととなったのは、3年に一度開かれる「島田帯祭り」、その花形である大奴。300年の歴史を持ち、静岡県指定無形民俗文化財にも指定されているこの祭りに、深い愛着と誇りを持つ地元民は多い。東海道の宿場町として多くの旅人を受け入れてきた島田という町の、伝統は大切に守り、新しいものを積極的に取り入れる風土こそが、他にはない商品を生み、だれもが知る「銘菓」を育んだのだろう。



清水屋（本店）

静岡県島田市本通り二丁目5-5
TEL 0547-37-2542
FAX 0547-36-3601
地方発送も可。
<http://www5.ocn.ne.jp/~komanjyu/>



●撮影協力
表紙撮影
アトリエ・ニケ
子ども造形・デザイン・絵画教室 大森恵
静岡県静岡市葵区上石町7-13 フタバビル2F
<http://zokei.sunnyday.jp/>

作品を作った子どもたち（順不同）
廣瀬蓮（東海大付属小1） 川村有輝（静岡市立麻機小3）
仲内玲那（静大教育学部附属静岡小3） 土屋伸行（静岡市立葵小4）
渡辺翔（静岡市立葵小5） 木林勇人（静岡市立葵小5）
望月勇希（静岡市立伝馬町小5） 高村倫奈（静岡市立安西小5）
網島海斗（藤沢市立辻堂小6） 舘林大（静岡市立城内中1）

P2写真提供 静岡新聞社

平成22年6月発行
●発行
株式会社清水銀行 経営企画部
静岡県静岡市清水区天神1丁目8番25号
TEL (054) 353-7895



清水銀行